

10月4日 逍遙



ワタシが暮らしているお店（天ぷら屋さん）に食事に来てくださるお客さん方の会話の中で、最近「御楼門」の話題を耳にすることが多くなりました。

先月のワタシの散歩コースだった「ニ之丸跡」に隣接する「本丸跡」（現在は県の施設「黎明館」）の国道沿いに、今年の春147年ぶりに復元された国内最大の立派な城門「御楼門」。明治6年にこの門が焼失するまでは、あの島津斉彬や久光、忠義、篤姫、さらには小松帯刀や西郷隆盛、大久保利通たちも、今回復元された御楼門と同じ姿の門を見ていたはずだ、と逍遙館長さん。「ただただ『それだけでいい』」と、一人感激しているようです。

でも猫のワタシにとっては、「鹿児島城本丸跡」と言えば、まずはやっぱり、北門の近くにある「天璋院篤姫」像でしょう。何と言っても篤姫は愛犬家、転じて、ワタシ達・猫をととても大事に可愛がってくださった方ですから。

猫好きの篤姫の話になったので、今日の午後のワタシの散歩先は、今は黎明館が建っている「鹿児島城本丸跡」にしようと思います。

すずにとつての

「本丸跡」とは、のまんま



次回「すずの裏散策、のこころ」